

だれにも当てはまる日常のできごとを
人間味のある、あるがままの目でユーモラスに綴る

CL diary #58

むーらん



4月13日(木)

4月の人事異動で私の課に変わってきた人はとてもフレンドリー。見ていると、課内の誰に対しても気軽に話しかけている。私にはとてもできないなあ、とうらやましく思っていたけれど、彼女の心のなかは誰にもわからないし、彼女なりにとても努力しているのかも。話すか、話さないか、行動するか、しないかの違いだけ。

4月21日(金)

私の隣の席の人が電話に出てくれ、そして私に、「裁判所から電話です」と繋いでくれた。「〇〇さんをお願いしたいのですが…」私への電話ではなかった。「あかんやん、違ったよー」と言うと「裁判所からだったら、絶対そうだと思って、あんまり話、聞いてなかったですわ」だって。「そんな、あほな」なんだか漫才みたいなやりとりになってしまった。確かに、私、最近よく裁判所に電話していたけれど。思い込みは私もやりそうなことだし、気をつけようと思った。

4月27日(木)

もうすぐ連休が始まる。今日コンビニエンスストアに行って、顔見知りの店員さんに「連休はお休みできるのですか？」と聞いたら「お休みはないの」「えー、それは大変ですね」「でもね、私はここで仕事しているほうが楽しいから」私はというと、毎朝「ああ、仕事行きたくないなあ」って思っているのに。彼女みたいな気持ちで仕事ができたらいいのに。でも気持ちはどうあれ、なすべきことをするだけ。

5月6日(土)

とんかつ屋さんでお昼。メニューを見ると「定食のごはんの量を選んでください」と書いてあって、ごはんが「①特盛、②大盛、③ふつう、④少なめ」となっている。「女性のかたは番号でも注文していただけます」と。女性だけ？何で？最初はわからなかったが、ふと気がついた。女性が「大盛」とか「特盛」とか声にだして注文するのは恥ずかしいだろうとお店からの心遣いだったのだ。

5月14日(日)

テレビで、お寺で行われた鉛筆供養のニュースを伝えていた。こどもたちが使ってきた小さくなった鉛筆を、お寺に納めて「ありがとう」を伝えるというもの。ものを捨てるときに「ありがとう」を言うことを、こんなに小さいときから、実行しているこどもたちがいるなんて、すてきだなと思った。

5月27日(土)

ただいま私の愛車は車検で入院中。いつも行くコンビニエンスストアに荷物が届いていると連絡があったので、少し遠いが、歩いて取りに行こうと家を出た。田舎なので、バスはほとんど通っていない。てくてく歩いて、途中、喫茶店でお昼を兼ねて少し休憩。最初は、ついでに実家まで歩こうかと思っていたが、この喫茶店でギブアップ！荷物をもらって、そのまま帰った。普段から愛車にどれほど頼っていたことか。大切にしていあげようと思う。

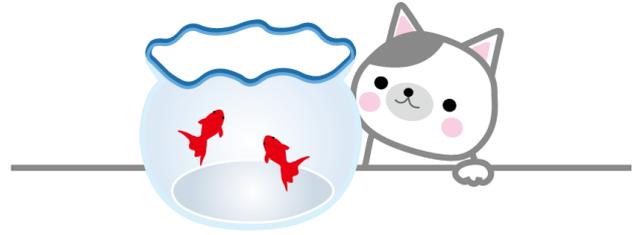
6月7日(水)

ひどい雨だったので、通勤のとき、いつも歩いている道をタクシーに乗った。毎日、暑いですねえ、という話から、「でも運転手さんはいいですね。涼しいところで仕事できるから」「よくそう言われるのですけどねえ、冷えすぎるのですよ。この前なんか、足が冷えすぎて、倒れてしもてね。救急車で運ばれて、長いこと入院し

ました」冷えて足の血のめぐりが悪くなってしまったそう。「それで、お客さんを待っているときは、できるだけ外に出ているようにしています」はたから見れば、快適そうに見えるけれど、そんな辛い事実もあったのだと思った。

6月17日（土）

実家の新入りねこがちっとも懐いてくれない。母が言うには、私が部屋に入ってきたのがわかったら、すぐに冷蔵庫の上へ避難してしまうらしい。実家に行くときは、ねこのおやつを持って行って「ちー太郎、これ、一緒に食べよう」と言ってもなかなか冷蔵庫の上から降りてきてくれない。恐る恐る降りてきたと思ったら、おやつだけ食べて、ぷいっと向こうに行ってしまう。コントロールできないもののひとつがねこの行動。わかっているのだけれど、片思いはせつないな…。



6月30日（金）

仕事を休んだ昨日、私が注文しておいた、課内で使う麦茶が届いたとのこと。「ずいぶんたくさん届いているよ」と。「え、4個しか頼んでないよ」それで見ると、麦茶パックが段ボールで1箱も届いている。これ、間違いやない？と思って納品書を見ても、「麦茶3パックセット」と書いてある。つまり3個×4＝12個…。ああ、やらかしてしまいました！麦茶、来年の分まであるよ…。私の観察が足りなくて大失敗。

（滋賀県滋賀郡CLインストラクター）

 [目次へ戻る](#)